

ARTICLES

柳内副院長・糖尿病内分泌代謝科長の記事が掲載されました



GLP-1 受容体作動薬の  
肝機能への影響

GLP-1受容体作動薬は血糖降下作用に加え各臓器保護作用が報告されています。MASLD 患者における肝機能改善は注目のトピックです。

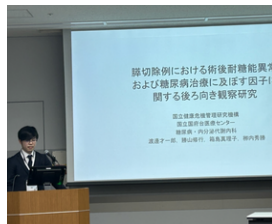
糖尿病情報誌「べんちのーと」  
メディカル・ジャーナル社 第142号 p12-13

CONFERENCE

内分泌・糖尿病年次学術集会で発表を行いました

第69回日本糖尿病学会年次学術集会・第18回アジア糖尿病学会学術集会 (AASD2026)

2026年5月 大阪で開催された日本糖尿病学会で猿渡先生、渡邊先生、勝山先生が演題発表を行いました。同時開催のアジア糖尿病学会学術集会で阿部先生、箱島先生が演題発表を行いました。



・演題

- 「2型糖尿病患者におけるイメグリミンの血糖コントロールおよび心血管リスク因子への影響」 (猿渡 広輝)
- 「膵切除例における術後耐糖能異常および糖尿病治療に及ぼす因子に関する後ろ向き観察研究」 (渡邊 才一郎)
- 「2型糖尿病患者におけるバスタブ入浴習慣と代謝パラメータと心血管疾患への影響に関する縦断研究」 (勝山 修行)
- 「Longitudinal Impact of Eating Behavior on Glycemia, MASLD and DKD in Type 2 Diabetes」 (阿部 勇樹)
- 「Prevalence and Clinical Characteristics of Autoimmune Thyroid Disease in Patients with Type 1 Diabetes」 (箱島 真理子)

第22回 国際内分泌会議 (2026年6月 京都)

堀中先生が京都で開催された第22回国際内分泌会議で発表を行いました。

・演題

- 「Prevalence and Clinical Characteristics of Autoimmune Thyroid Disease in Patients with Type 1 Diabetes」 (堀中 誠一)

